

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			居室としては充分である。活動の際は内容によってはスペースが必要な場合もあるが、感染対策としての社会的距離も確保できている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			狭い室内通路について、扉の撤去を行い、安全に通れる幅を確保した。
業務改善	4	業務改善を進めるための目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか	○			月1回カンファレンスを行い、問題点があれば改善できるように検討を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向け評価表では、現在、改善点等の意見はいただいていないが、意見をいただいた際には取り組んでいく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			放課後デイはH27、30年度に県の実地指導を受け、指摘された事項は改善している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年2回、本体施設(病院)で行う研修に参加している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○			家族の意向を把握した上で、日常生活支援は看護師が、成長・発達支援は保育士が担当し、お互いに話し合って個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			共通のアセスメントシートを使用し、行動や状態の把握に努めている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動計画書(月間・週間)を保育士が作成し、チームで情報共有している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			活動内容に季節感を取り入れたり、季節行事を行うことにより、固定化しないように工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		平日、休日での課題設定ではなく、障害特性に応じて支援内容や課題を設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	○			多機能型事業所であり活動内容は共通であるが対象児の状況に応じた支援方法にて実施しており、個別支援計画書も作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			来所前にその日の活動内容を支援者全員で確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			降所後に気づいた点等を話し合い、その都度、改善策を検討している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の様子を項目別(生活・療育・医療)に記録している。サービス向上ミーティング時に記録内容を基に、支援の検証や改善点の検討を行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			日々のモニタリングに加え、半年に1回サービス向上ミーティングを実施し、必要に応じて計画の見直しを行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか	○			療育活動においては、発達支援を視野に入れた計画を立て実施している。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		招集された場合は児童発達支援管理責任者(事業管理者)が参画しているが、情報提供のみで会議は行われていない。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		受入れに当たっては、主治医から診療情報を得ている。本体施設が病院のため、日常のケアは看護師・担当医が行っている。	
	23	【児童発達支援のみ】 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			○	現在、該当者はいない。
	24	【児童発達支援のみ】 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			小学校入学後、担任教師の当事業所見学の機会があり、その際、情報共有を行った。
	25	【放課後デイのみ】 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	重症心身障害児が対象のため、保育所や幼稚園等に行かれていない。家族や相談支援専門員から情報を得ている。
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			2圏域の自立支援協議会に参加している。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡ノートでの情報交換と、送迎時に直接家族に状況を伝えている。
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ペアレントトレーニングとしては行っていないが、他の方法として、家族の悩みに応じて相談支援ができるような体制を作っている。
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に重要事項説明書で利用者負担等の説明を行っている。支援内容は契約時だけでなく、その都度、伝えている。
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			家族の悩みに応じて相談支援ができるように努めている。
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	利用者が少ないため、行っていない。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情解決規程を作成し、体制を整えている。日常的には家族とのコミュニケーションを図り、課題に迅速に対応できるように努めている。
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			機関誌を年4回発行し、活動内容や事業所での様子を伝えている。
	34	個人情報に十分注意しているか	○			本体施設(病院)の規程に則り、個人情報保護に努めている。
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			十分に情報が伝わるように、連絡方法については各家庭に応じた対応ができるように配慮している。
非常時等の対応	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	本体施設(病院)においてマニュアルを作成しており、職員には周知されているが、家族への周知は不十分のため機会ごとに説明を深めていく。
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			本体施設(病院)で行う避難訓練に参加している。
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年2回、本体施設(病院)で行う研修に参加している。
	39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	○			身体拘束を行う場合は、家族に説明し同意を得ている。内容については、個別支援計画に記載している。(現状は車椅子上でベルトのみである)
	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			現在、該当者はいないが、あれば医師の指示の下、栄養管理室と調整し、適切な対応を行う。
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			本体施設(病院)の規程に則り、該当事例があれば報告し、院内委員会において共有している。